

早稲田大学大学院 スポーツ科学研究科
修士課程2年制 入試問題の訂正内容

＜スポーツ科学研究科：修士課程2年制(春期) 一般入試＞

【一般】

●問題冊子5ページ 設問Ⅳ【問題1】3行目

(誤)

～骨基質(33)・(34)の分泌と・・・

(正)

～骨基質[(33)・(34)]の分泌と・・・

●問題冊子6ページ 設問Ⅴ(46)

(誤)

印刷かすれ

(正)

～(46)に反映されてくるものです。

以上

2018年度 修士課程入学試験（春期）

試験問題〔一般〕

早稲田大学大学院スポーツ科学研究科

問題を全て答えなさい。全受験生共通問題です。

必ず記号で解答すること。記述にて解答した場合は採点されません。

1.

各設問の空欄（ 1 ）から（ 10 ）に当てはまるものを、下記の語群から1つずつ選んで、その記号を回答欄に記入しなさい。

【問題 1】

古くから武道教育の現場では、技芸だけではなく、（ 1 ）なるように立ち居振る舞いを規制する強い規範性がありました。そこに西洋出自の他のスポーツなどの技芸との違いがあります。

ア. 礼儀正しく イ. 目付鋭く ウ. 動き素早く エ. 容貌美しく

【問題 2】

ドーピングや故意のファウルなどの逸脱行為は、（ 2 ）から起こります。

ア. スポーツ規範に対する無関心 イ. スポーツ規範に対する無理解
ウ. スポーツ規範への過少同調 エ. スポーツ規範への過度同調

【問題 3】

スポーツメディアは（ 3 ）物語を好みます。

ア. 明るい イ. ソーシャルな ウ. 単純な エ. ナショナリズム的

【問題 4】

人間の本質を理性や知性に求めるホモ・サピエンス論やホモ・フーバー論に対し、これを遊びに求めたホモ・ルーデンス論を展開したのは（ 4 ）です。

ア. ホイジンハ イ. ピアジュ ウ. クーベルタン エ. スペンサー
オ. プラトン

【問題 5】

1905（明治 38）年、早大野球部はわが国で初めてアメリカに遠征し、スタンフォード大学はじめ、アメリカ西海岸の大学や中学、セミプロ、軍隊などと対戦しました。帰国後、メンバーの一人、橋戸信（頑鉄）は（ 5 ）を著して当時の最新技術を紹介しました。

ア. 『野球と其の害毒』 イ. 『素晴らしいアメリカ野球』
ウ. 『最新野球術』 エ. 『野球案内』

【問題 6】

身体には、その人の歩んできた日々を反映したかのような姿勢、筋力、癖などが刻み込まれており、従って舞踊にも、その実践者の（ 6 ）がにじみ出てくるのです。

ア. <新しさ> イ. <技術> ウ. <生きざま> エ. <苦悩>

【問題 7】

新しい学習指導要領では児童・生徒が授業を通して養うべき資質能力を、知識・技能、（ 7 ）、及び学びに向かう力・人間性等の3つの柱で捉えています。

ア. 体力 イ. 総括力・判断力 ウ. 思考力・判断力・表現力等
エ. 態度 オ. 表現力・総合力・構想力等

【問題 8】

ドイツのスポーツ教育学者グルーペが示した「スポーツの意味（1997）」とは、①身体の体験と自己の人格の経験、②健康と安寧、③興奮と緊張、④（ 8 ）、⑤モノの経験および自然とのかわり、⑥美意識とドラマ性、⑦プレイ性の計7つです。

ア. 他人との結びつき イ. 通過儀礼 ウ. 遊びとゲーム エ. 知的学習

【問題 9】

一般に授業評価は、「診断的評価」、「形成的評価」、「総括的評価」に分けられます。その中でも「形成的評価」は特に重要とされ、単元の（ 9 ）において児童生徒の学習状況を見極め、必要に応じて軌道修正を行ったり、個別指導を組み入れたりするために用いられます。

ア. 計画づくり イ. 準備段階 ウ. 実施過程 エ. 終了時

【問題 10】

中国最古の字典には、「武とは（ 10 ）を止むの会意文字」と説明されています。

ア. 戈 イ. 打撃 ウ. 攻撃 エ. 首絞め

II.

以下の設問に対して、正しいものには「ア」を、間違っているものには「イ」をつけなさい。

- (11) スポーツツーリズムは、スポーツを目的とした旅行であるが、それはスポーツへの参加を意味し、スポーツ観戦のための旅行は含まれない。
- (12) 大規模スポーツイベントが地域活性化に果たす役割は、都市の地名度の向上、社会資本の蓄積、消費の誘導、地域の連帯性の向上の4つである。
- (13) スポーツ振興投票 (TOTO) では、売り上げの80%が当選者に払い戻される。
- (14) アメリカの4大プロスポーツは、MLB (野球)、NFL (アメリカンフットボール)、NHL (アイスホッケー)、MLS (サッカー) である。
- (15) 「さいたまスポーツコミッション」は、スポーツイベントの誘致によってスポーツで人を動かす仕組みをつくる新しいスポーツ振興の組織である。
- (16) 野球独立リーグで有名な四国アイランドリーグは、2005年に4チームでスタートした。
- (17) プロスポーツとしての大相撲を主催・運営しているのは営利を目的とした(株)日本相撲協会である。
- (18) 大相撲の力士の待遇は、十両以上と幕下以下で大きく異なるが、十両以上は協会から給料を得る雇用者である。
- (19) 平成18年に導入された指定管理者制度は、補助金を一切もらわず、自治体に施設賃貸料を支払い、施設を運営する権利を得る制度である。
- (20) 1995年以降、総合型地域スポーツクラブの数は急増したが、補助金頼みの財源や指導者の不足、そして活動拠点がないなどの多くの問題を抱えている。

Ⅲ.

以下の（ 21 ）から（ 30 ）の問いに対して、正しいものには「ア」を、間違っているものには「イ」を選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

- （ 21 ） 継続的な運動は脂質や糖質の利用によりロコモティブ症候群を減らすことにつながる。
- （ 22 ） 食事や水分制限をして激しいトレーニングをすると感染症がおこりやすくなる。
- （ 23 ） 発育期に適切な運動刺激が加わると骨や筋肉などの運動器の蓄えによい影響がある。
- （ 24 ） 貧血とはめまいや失神のことではなく、スポーツにおける持久力の低下をもたらす。
- （ 25 ） 慢性のスポーツ障害では競技・種目による特異性や個人差がみられる。
- （ 26 ） 意識清明でも四肢を動かせない場合は脳震盪を疑い救急病院へ搬送する必要がある。
- （ 27 ） スポーツのパフォーマンスは時間帯によって変化することは少ないと考えられる。
- （ 28 ） 週に 60～150 分の身体活動でメンタルヘルスを良好に保つことができる。
- （ 29 ） 運動行動の変容ステージは準備期、実行期、熟考期、維持期と進む。
- （ 30 ） リコンディショニングは受傷直後から日常生活機能獲得までの過程を指す。

IV.

以下の空欄（ 31 ）から（ 40 ）に最も当てはまるものを下の語群から1つずつ選んで、その記号を解答欄に記入しなさい。

【問題1】

骨は、筋肉や内臓などの諸器官を格納し、身体を支える構造体として、また、骨格筋をはじめとする細胞のはたらきに必要なカルシウムの貯蔵庫、さらには、（ 31 ）を生み出す場所（骨髄）として機能している。（ 32 ）による骨基質（ 33 ）・（ 34 ）の分泌と、（ 35 ）による骨基質の分解を同時進行しながら（リモデリング）、骨の形と強度が維持されている。

【問題2】

筋収縮の直接のエネルギーは、（ 36 ）の分解によってもたらされる。しかし、体内に貯蔵されるこの量は極めて少ないことから、運動を維持するためには、直接のエネルギーである（ 36 ）を絶えず再合成しなければならない。その1つとして、（ 37 ）的に、（ 36 ）を再合成する方法がある。しかし、この方法では限られた量の（ 36 ）しか作り出せない。そのため、運動時間が約1分を超えて、さらに運動時間が長くなればなるほど、（ 38 ）的に（ 36 ）を再合成することが必要となる。

【問題3】

普通の人を回転椅子に座らせて高速で回すと、その直後には目が左右に激しく動く「回転後（ 39 ）」と呼ばれる現象が観察される。この現象は姿勢の調節に重要な（ 40 ）という感覚器官（内耳にある）からの信号で起こる。このとき「目が回っている」と感じるが、姿勢調節が正常に機能していることを意味している。しかし同じ刺激をフィギュアスケーターに加えても目は回らない。長年の訓練で回転をしても（ 39 ）が起こらないように適応しているからである。

語群

ア. 眩暈	イ. 眼振	ウ. 迷路	エ. 耳小骨	オ. BDNF
カ. リン酸カルシウム	キ. ビタミンB	ク. コラーゲン	ケ. アデノシン二リン酸	
コ. アデノシン三リン酸	サ. 関節液	シ. 血液	ス. 破骨細胞	セ. 分骨細胞
ソ. エクリン腺明細胞	タ. 骨細胞	チ. 無酸素	ツ. 有酸素	テ. 一時
ト. 恒常				

V.

以下の空欄（ 41 ）から（ 50 ）に最もあてはまるものを下記の語群から1つずつ選んでその記号を解答欄に記入しなさい。

一貫指導とは、同じ（ 41 ）が競技開始から引退まで同じ指導者と歩むことではなく、指導理念や（ 42 ）を、その時に見合った適切な指導が行えるものです。そのためには、各年代に携わる指導者がアスリートの資質をとらえ、どのような指導を行っているのかが重要になります。

ア. 概念	イ. 感情	ウ. 方向性	エ. 進路
オ. 競技者	カ. 役割	キ. ジュニア	ク. シニア

（ 43 ）には、「うまくなりたい」「速く走りたい」など、こころの内側から湧き出る「（ 44 ）」を刺激する特性があります。この（ 44 ）により、子ども達は時間を忘れてボールを追いかけ、（ 45 ）は0.01秒のタイムを縮めるため厳しいトレーニングを続けられるのです。

ケ. アスリート	コ. アナリスト	サ. 外的要因	シ. 内発的動機づけ
ス. スランプ	セ. スポーツ	ソ. スキル	タ. トレーニング

戦術は、日々の練習や（ 46 ）に反映されてくるものです。語源はギリシャ語の「（ 47 ）や編成の術」という“taktike”から由来するといわれています。自らまたは（ 48 ）として有利さを獲得する、もしくは有利さを妨げることを意味しています。

チ. 相手	ツ. 競争	テ. 集中力	ト. 配慮
ナ. 転換	ニ. 配置	ヌ. ゲーム	ネ. チーム

コーチ(Coach)とは（ 49 ）を意味するもので、現在ではスポーツを指導する人を指すようになっています。すなわち「コーチとは目的を持った客を（ 50 ）まで確実に運ぶ役割を担った人」（勝田 2002）といえます。

ノ. 勝利者	ハ. 目標設定	ヒ. 四輪馬車	フ. 教師
ヘ. 目的地	ホ. 優勝	マ. 移動手段	ミ. 指導者

2018年度 修士課程
入学試験(春期)
解答用紙〔一般〕

受験番号					
氏名					

※欄は記入しないで下さい。

I	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)
	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)

※

II	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)
	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)

※

III	(21)	(22)	(23)	(24)	(25)
	(26)	(27)	(28)	(29)	(30)

※

IV	(31)	(32)	(33)	(34)	(35)
	(36)	(37)	(38)	(39)	(40)

※

V	(41)	(42)	(43)	(44)	(45)
	(46)	(47)	(48)	(49)	(50)

※

※
